

幡中だより

あやめ

～since 1999～

第296号

令和6年1月9日

瀬戸市立幡山中学校



## 謹んで新年の御挨拶を申し上げます

瀬戸市立幡山中学校長 梶田 明敬

元日の能登半島の大地震により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。心休まる状況ではないかと思われませんが、被災された皆様が一日も早く平穏な生活に戻られますことをお祈り申し上げます。

ある雑誌で、気象予報士の方が書かれた記事を読みました。そこには、過去の豪雨災害において、気象庁が事前にある程度の予報ができ、マスメディアも警戒を呼びかけていたにも関わらず、結果として人々の避難につながらなかった。情報を受け取った人が行動に移さなければ災害犠牲者は減らないと痛感した、と。



今回の地震の際、ただならぬ事態だと感じた私は、すぐに運転していた車を路肩に寄せ、NHK テレビをつけました。そこでは、アナウンサーが大変強い口調で津波からの避難を呼びかけていました。同乗していた娘は恐怖のあまり消してくれと懇願してきたほどです。しかし、それほどまでに危険が迫っていること、自分の命を守りきることに、そんな思いが伝わってきました。これこそまさに、これまでの災害経験から、情報を受け取った人が行動に移せるようにと生み出されたものだと強く感じました。

ならば、学校として何ができるのか。

東日本大震災や熊本地震の際、日ごろから防災訓練を受けていた中学生が率先して周囲に声をかけて避難をしたり、災害直後の避難生活でも大きな力になったりしたことが話題になりました。

日本は四方を海に囲まれた島国であり、海流の影響を受け四季がはっきりしています。そのため、それぞれの季節が自然の風景を彩り、楽しませてくれます。反面、大雨、地震、津波、火山の噴火等の自然災害のリスクを抱えており、気候変動の影響も大変受けやすい国です。

昨今のように激甚化する自然災害から命を守るためには、子どものうちから継続的に防災教育を受けることが大切です。そして、防災教育は、災害から命を守るだけでなく、前向きに生きる力、社会に貢献する力を育むことにもつながります。

本校では、年に数回避難訓練を行っています。この貴重な機会を最大限に生かし、自宅や地域の災害リスクを知り、事前に備えたり、いざという時に、家族や地域の力になれたりできる、そんな幡中生を育てていきたいと思っております。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



## 1組 スポーツ交流会

12月1日(金)

市内の特別支援学級の生徒とともに、年に一度のスポーツ交流会を行いました。幡山中学校は開会式の担当で、セリフは一人ずつ担当しました。

その後は、4つのチームに分かれ、玉投げやボッチャ、おたのしみ競争を楽しみました。はじめての種目もありましたが、チームの友達や先生と協力しながら取り組むことができました。お互いを応援し合う姿も、途中で何度も見られました。様々な場所で、生徒たちの成長を見ることができ、とても感動しました。



## 大掃除

12月15日(金)

6時間目をつかって、大掃除を行いました。まずは、各自の机の中やロッカーの整理整頓を行いました。その後は通常清掃の担当場所で、いつもよりも長い時間の活動を行いました。普段はできない部分も掃除を行うことができ、気持ちの良い時間となりました。

そして、本日から3学期が始まりました。自分たちできれいにした教室で、新たな気持ちで学期をスタートできたと思います。



## 3学期の主な行事予定

1月 9日(火)	始業式
17日(水) ~ 19日(金)	3年：進路相談
19日(金)	1年：特別支援学校つばきと交流
26日(金)	入学説明会
31日(水)	1組：特別支援学級卒業生を送る会
2月 2日(金)	新1年生学校見学会
6日(火)	1年：ボッチャを楽しもう講習会
13日(火) ~ 15日(木)	1・2年：学年末テスト
29日(木)	卒業生を送る会
3月 6日(水)	卒業証書授与式
22日(金)	修了式